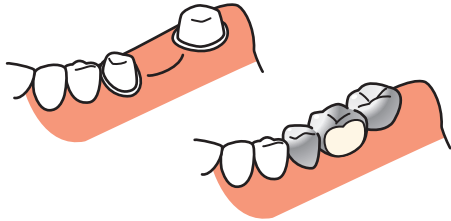


ブリッジ・入れ歯・インプラントの違い



歯を失ってしまったら、人工的な歯を補う治療が必要です。
治療法にはブリッジ、入れ歯、インプラントの3種類があります。
それぞれの治療方法の違いや特徴について解説します。

1 ブリッジ



歯のない部分の両隣の歯を削り、
連結した形の冠を被せます

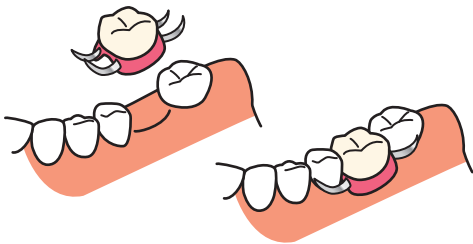
長所

- ・治療期間が短い
- ・固定式で違和感少ない
- ・銀色なら健康保険で治療できる
- ・審美性にすぐれた素材を使用できる（保険治療外）

短所

- ・両隣の歯を土台とするため、ムシ歯でない歯を削る必要がある
- ・両隣の歯に負担がかかる（将来、歯根破折の可能性がある）
- ・土台となる歯の状態により、ブリッジができない場合がある

2 入れ歯



歯のない部分に取り付ける、
取り外しのできる入れ歯を製作します

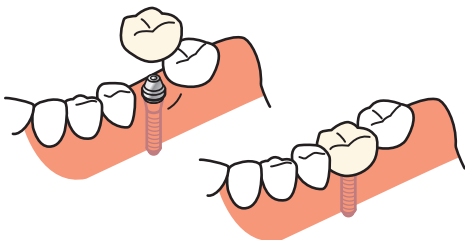
長所

- ・治療期間が短い
- ・両隣の歯を削る必要がない
- ・健康保険で治療できる
- ・清掃しやすい
- ・薄い金属の板で作る入れ歯は異物感が少ない（保険治療外）

短所

- ・異物感がある
- ・噛む力は天然歯の15%
- ・審美性において劣る
- ・取り外しの必要がある
- ・将来、歯ぐきがやせていく

3 インプラント



手術により人工の歯根を顎の骨に埋め込み、
その上に人工の歯を固定します

長所

- ・自分の歯と同じように噛める
- ・両隣の歯を削る必要がない
- ・他の歯に負担をかけない
- ・審美性に優れている
- ・固定式で違和感がない
- ・インプラント成功率は90%~95%

短所

- ・手術の必要がある
- ・健康保険で治療ができない
- ・治療期間が長い（約6ヶ月~1年）
- ・骨や全身の状態によってはできない場合がある
- ・タバコを吸う人にはお勧めできない